

「攻めのIT経営調査2018」 について

2018年1月
攻めのIT経営事務局

1. 「攻めのIT経営調査2018」概要

調査対象	東京証券取引所の内国上場会社 3,573社 (一部、二部、マザーズ、JASDAQ)
調査実施期間	2018年1月9日(火) 開始 2018年2月9日(金) 終了 ※18:00まで
調査方法	<ul style="list-style-type: none">● WEBアンケートでの回答(1月5日郵送) 各社の「IR担当」宛にID/PWを送付済み ログインページ: https://rsch.jp/eqt5/?seme2018 選択式項目と記述式項目で構成 <ul style="list-style-type: none">✓ 選択式項目はWEB上での回答✓ 記述式項目は記入フォーマットのアップロード

ID/PWの再発行依頼

事務局宛にメールにてご連絡をお願いいたします。 mngita@juas.or.jp

- ・ 標題: 【攻めのIT経営調査2018】ID/PW再発行依頼
- ・ 記載内容: 企業名(お分かりになれば証券コードも)、ご担当部署名・氏名、連絡先電話番号

(参考)「攻めのIT経営銘柄2018」選定スケジュール

2018年

1月5日 (金) 「攻めのIT経営調査2018」回答依頼、ID・パスワードの送付

1月9日 (火) 「攻めのIT経営銘柄2018」説明会

「攻めのIT経営調査2018」アンケート回答受付開始



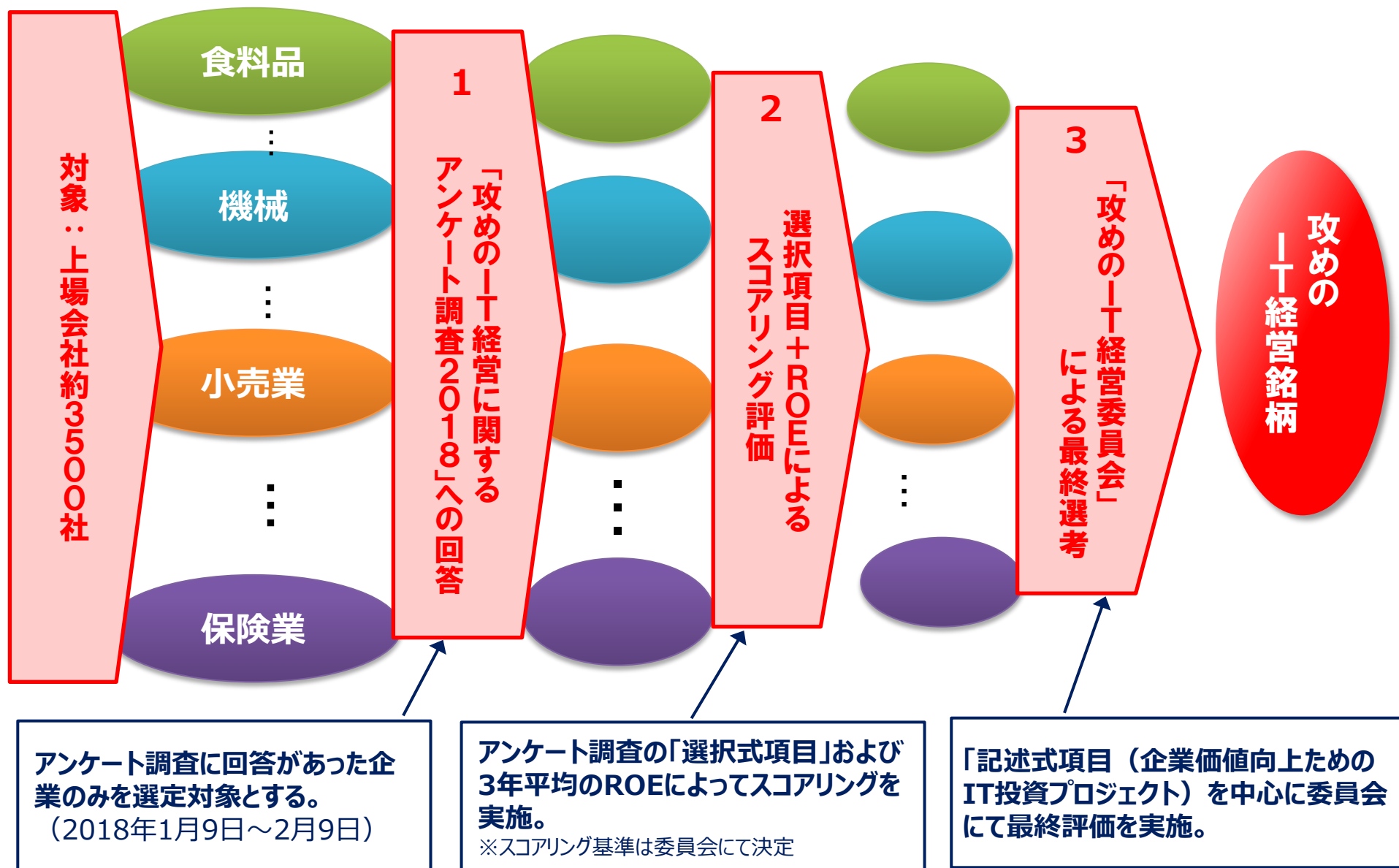
2月9日 (金) アンケート回答受付終了 (18:00厳守)



5月頃 「攻めのIT経営銘柄2018」「IT経営注目企業2018」発表 (予定)

発表以降 フィードバックを実施 (6月以降を予定)

参考 「攻めのIT経営銘柄2018」の選定プロセス



2. アンケート調査内容

「企業価値向上のためのIT活用」への取組状況について、以下の5項目で設問を構成しています。※設問詳細は別資料を参照

I 経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用

経営方針・経営計画における企業価値向上のIT活用、経営者・企業価値向上のためのIT活用に関する責任者について等

V 企業価値向上のためのIT投資評価および改善のための取組

IT投資の評価プロセス・PDCAの実践等

II 企業価値向上のための戦略的IT活用

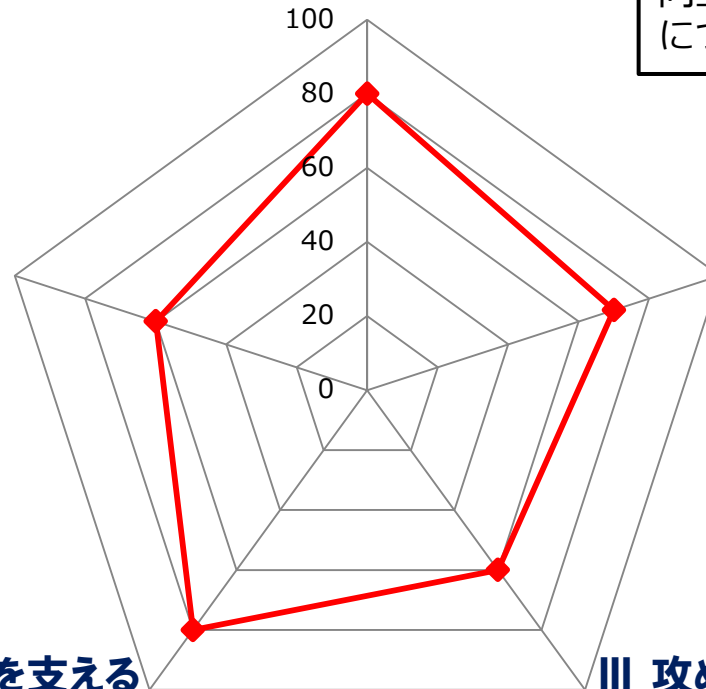
企業価値向上のためIT活用への取組み状況とその効果等

IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組

情報セキュリティ等リスクへ対応、システム刷新への取組み等

III 攻めのIT経営を推進するための体制および人材

企業価値向上のためIT活用を実践するための組織体制・人材確保等



3. アンケートの構成

アンケート（WEBサイト）章立て	説明
企業情報・連絡先等の記入	企業情報および連絡先窓口の方の、お名前、ご所属部署・お役職、連絡先について ※必須回答です。
I 経営方針・経営計画における 企業価値向上のためのIT活用	✓ 選択式回答（Q15・Q17・Q51・Q52以外）についてはWEBサイト上でご回答をお願いいたします。 ✓ 「複数回答可」の指定がない場合は、あてはまる選択肢1つを選んでください。 ✓ 記述式回答（Q15・Q17・Q51・Q52以外）については、記述フォーマットをダウンロードし、記入してアップロードをお願いします。
II 企業価値向上のための戦略的IT活用	
III 攻めのIT経営を推進するための 体制および人材	
IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組	
V 企業価値向上のためのIT投資評価 および改善のための取組	
関連する取組み・参考質問（任意回答）	任意回答として、攻めのIT経営に関連する取組み（記述回答）および参考質問（組織風土・文化に関して）
Q15、17、51・52の記述回答アップロード	記述回答のフォーマットおよび別添資料をアップロードするページです。

3. アンケートの構成 詳細説明①

項目	詳細
企業情報・連絡先等の記入	<p>企業情報および連絡先窓口の方の、お名前、ご所属部署・お役職、連絡先※必須回答です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 銘柄発表後（2018年6月以降）、フィードバックを予定しています。メールでのご案内を予定しておりますので、連絡窓口となるメールアドレスを間違いなくご記入ください。 ✓ 原則ご回答いただいた企業名をすべて公表させていただく予定です。公開を希望されない場合はこのページでチェックをお願いいたします。
I 経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用	<p>選択式回答（Q15・Q17・Q51・Q52以外）</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 各項目の2つ目の質問（記述欄）は、銘柄選定における客観性を高めるため、1つ目の質問で回答いただいた内容の「エビデンスとなる情報」として可能な範囲でご記入をお願いするものです。※記述いただいた内容自体を評価する質問ではありませんが、攻めのIT経営銘柄等の選定・発表の際に確認させていただく可能性があります。（WEBサイト等で公開されている資料に関しては、掲載箇所が確認できるよう記述いただくと幸いです） ✓ 各項目の3つ目の質問として、別途発表している「攻めのIT-IRガイドライン」と連動した、ITに関する情報開示に関する内容を一部お聞きしております（評価に利用いたします）。
II 企業価値向上のための戦略的IT活用	
III 攻めのIT経営を推進するための体制および人材	
IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組	
V 企業価値向上のためのIT投資評価および改善のための取組	

3. アンケートの構成 詳細説明②

項目	詳細
Q51、52 関連する取組み Q53～57 参考質問	<p>本章の設問は任意回答です。</p> <p>Q51、52 関連する取組み 記述フォーマットに記入してご回答ください。</p> <p>Q53～57 組織風土・文化についての質問（選択式回答） WEBサイトでご回答 ※Q53～57については評価に使用しません。</p>
Q15、17、51、52 記述回答アップロード	<p>Q15、17、51、52の記述回答</p> <ul style="list-style-type: none">✓ 記述フォーマットの初期パスワード：seme2018✓ アップロードの際、ファイル名の頭にID番号を加えてください。✓ 別添資料がある場合は、PDFに変換いただき、1つのファイルにまとめ、ファイルの名称の頭にID番号を加えてアップロードをお願いいたします。その際、Q15、17、51、52のいずれに対応しているかわかるように記載をお願いいたします。✓ アップロード可能容量は6MBまでとなっております。これを超える容量のファイル送付をご希望の場合は、事務局メールアドレス宛にご連絡をお願いいたします。

4. アンケート回答サイトについて①

■ ログインページURL
<https://rsch.jp/eqt5/?seme2018>



経済産業省「攻めのIT経営」に関するアンケート調査 2018
(「攻めのIT経営銘柄2018」選定に関する調査)

■ 設問一覧

- アンケートの全設問および用語の説明は、ダウンロード可能です。
- 設問項目をご確認いただいたうえ、ご回答をお願いいたします。

アンケート調査実施期間:2018年1月9日(火) ~ 2018年2月9日(金)18:00

ご回答にあたってご留意いただきたい点 ※必ずご確認ください。

- 本調査は、東京証券取引所の上場企業全社(一部、二部、マザーズ、JASDAQ)を対象に、企業の「攻めのIT経営」に対する取り組みや成果についてお伺いし、その実態を把握することを目的としております。
- 本調査は経済産業省から委託を受けた一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会(JUAS)が事務局として実施しております。ご回答いただいた情報は、機密を厳守し、集計・評価に利用いたします。個票データが会社名およびご回答者名とリンクして開示されることはありません。ただし、個人名が特定できない統計データとして「攻めのIT経営」の普及啓発に利用する場合があります。
- アンケートの全設問は、下記よりダウンロード可能です。質問項目をご確認いただいたうえ、ご回答をお願いします。
 - **アンケート設問一覧**
- アンケートは、選択式項目(Q15・Q17・Q51・Q52以外)と記述項目(Q15・Q17・Q51・Q52)に分かれております。
 - **記述項目フォーマット**

※記述フォーマットの初期パスワード: **seme2018**
※アップロードの際、ファイル名の頭にID番号を加えてください。
※別添資料がある場合は、PDFに変換いただき、1つのファイルにまとめ、ファイルの名称の頭にID番号を加えてアップロードをお願いします。その際、Q15・17・51・52のいずれに対処しているかわかるように記載をお願いします。なお、アップロード可能容量は6MBまでとなっております。これを超える容量のファイル送付をご希望の場合は、事務局メールアドレス宛に、ご連絡をお願いします。
- アンケート回答画面の操作について
 - 本アンケートは8つの章構成に分かれております。
 - 管理画面から章ごとにご回答をお願いします。また、管理画面から回答状況を確認することができます。
 - 回答は途中で保留することが可能です。なお、ブラウザの「戻る」ボタンで戻られた場合はそれまでの回答が無効となりますのでご注意ください。
 - 1~V章はアンケート回答後、「回答内容一覧へ」ボタンを押すと、回答いただいた内容の一覧が表示されます。必要に応じてこのページを印刷、画面を保存するなどの対応をお願いします。また、このページで「回答を完了する」ボタンを押すとその章は【回答済み】となり、回答内容の変更・閲覧ができなくなりますのでご注意ください。

■ 注意事項

- 回答時の注意事 (WEB操作関連事項含む) を記載しております。
- 必ず確認のうえ、回答をお願いいたします。

■ 記述フォーマット

- 記述項目については、記述フォーマットをダウンロードいただき、ご記入のうえ、選択式回答完了後にアップロードをお願いいたします。

4. アンケート回答サイトについて②

「攻めのIT経営」に関するアンケート調査2018 管理画面

- 本アンケートは8つの章構成に分かれております。
- 管理画面から章ごとに回答をお願いいたします。また、管理画面から回答状況を確認することができます。
- 回答は途中で保留することが可能です。なお、ブラウザの「戻る」ボタンで戻られた場合はそれまでの回答が無効となりますのでご注意ください。
- I～V章はアンケート回答後、「回答内容一覧へ」ボタンを押すと、回答いただいた内容の一覧が表示されます。必要に応じてこのページを印刷、画面を保存などの対応をお願いいたします。また、このページで「回答を完了する」ボタンを押すとその章は【回答済み】となり、**回答内容の変更・閲覧ができませんのでご注意ください。**
- 「企業情報・連絡先等の記入」「記入いただいたファイルのアップロード」画面では確認ページが表示されませんので、ご注意ください。
- ファイルのアップロードを含め、すべての章の回答が完了となると、アンケート終了となります。

■ 注意事項

注意事項が表示されていますので、必ずご確認のうえ次にお進みください。

章名	回答状況
企業情報・連絡先等の記入	回答済み
I 経営方針・経営計画における企業価値向上のためのIT活用	未回答
II 企業価値向上のための戦略的IT活用	未回答
III 攻めのIT経営を推進するための体制および人材	未回答
IV 攻めのIT経営を支える基盤的取組み	未回答
V 企業価値向上のためのIT投資評価および改善のための取組み	未回答
関連する取組み・参考質問(任意回答)	回答途中
Q15、17、51、52の記述回答アップロード	回答途中

● [アンケート設問一覧](#)

● [記述項目フォーマット](#) (初期PW:seme2018)

4. アンケート回答サイトについて③

回答内容確認ページ		
Q48-1	設問文	IT 投資に対する事後評価のルール・プロセスを定め評価していますか。
	回答	(未回答)
Q48-2	設問文	そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 例「事後評価報告書」
	回答	(未回答)
Q48-3	設問文	その内容をIR資料等で公開していますか。
	回答	(未回答)
Q49-1	設問文	最新のデジタル技術の活用など、実験的なITのトライアル投資について、他の投資と異なる意思決定プロセスや判断基準がありますか。
	回答	(未回答)
Q49-2	設問文	そのルール・プロセスの名称または概要をご記入ください。 例「最新デジタル投資枠」を設け柔軟に対応
	回答	(未回答)
Q50-1	設問文	投資効果を最大化するために、全社的に活用状況を把握し、PDCA サイクルを定義して改善に向けて取り組んでいますか。
	回答	(未回答)
Q50-2	設問文	PDCAプロセスを確認している会議体等の名称をご記入ください。 例「IT投資委員会によるレビュー会議」
	回答	(未回答)
Q50-3	設問文	その内容をIR資料等で公開していますか。
	回答	(未回答)

ページを印刷する

回答ページに戻る

管理画面に戻る

回答を完了する

※完了後は修正できません

必要に応じこのページを印刷して保存してください。

■ 注意事項

注意事項が表示されていますので、必ずご確認のうえ次にお進みください。

4. アンケート回答サイトについて④



経済産業省「攻めのIT経営」に関するアンケート調査 2018
(「攻めのIT経営銘柄 2018」選定に関する調査)

※回答中にブラウザの「戻る」を押すとそれまでの回答が無効になりますのでご注意ください。



次からはアップロード画面となります。
エクセルとPDFをご用意ください。

※アップロードの際、記述フォーマットのファイル名にID番号を加えてください。
※別添資料がある場合は、PDFに変換いただき、1つのファイルにまとめ、ファイルの名称の頭にID番号を加えてアップロードをお願いいたします。その際、いずれの設問に対応しているかわかるように記載をお願いいたします。
なお、アップロード可能容量は6MBまでとなっております。これを超える容量のファイル送付をご希望の場合は、異なるアップロードサイトをご案内いたしますので、表面記載の事務局メールアドレス宛に、ご連絡をお願いいたします。

※アップロード完了後は、再度アップロード画面に戻ることはできませんのでご注意ください。
(アップロード後に差替えを希望される場合は事務局メールアドレス宛にご連絡をお願いいたします)

次へ



■ 注意事項

注意事項が表示されていますので、必ずご確認のうえ次にお進みください。

5. 記述式回答の内容について①

Q15・17「企業価値向上のためのIT投資プロジェクト」内容について

「企業価値向上のためのIT投資プロジェクトとして、以下の3つの要素を評価、加えて右の3つの観点からも評価します。

企業価値向上のためのIT活用

1 IT活用による「革新的な生産性向上」の実現

業務そのものの自動化・不要化、働き方の変革等により、革新的な生産性の向上を目指す取組み

新たなデジタル技術の活用、先進的なIT活用

2 IT活用による「既存ビジネスの拡充」の実現

顧客との関係の強化、新地域、新セグメントへの展開、商品・サービスの質改善等により、既存の事業ドメインを変えずに収益における成長を目指す取組み

収益への貢献

3 IT活用による「ビジネス革新」の実現

これまでになかった価値を創出したり、これまで存在しなかった顧客・市場を創造することで、新たなビジネスモデルを実現したり、新たな事業分野へ進出する取組み

将来性・発展性

レガシーシステム刷新
関係するステークホルダーの範囲波及効果 等

5. 記述式回答の内容について②

関連する取組み

攻めのIT経営に関連するQ51およびQ52について、優れた取組みを実施している企業とその取組みを「IT経営注目企業2018」として発表予定です。貴社として特筆すべき取組みについて、所定フォーマットに自由にご記入ください。※ご回答は任意です。

Q51 レガシーシステム刷新の取組み

企業価値向上のためのIT活用の実施においては、「レガシーシステム（技術面の老朽化、システムの肥大化・複雑化、ブラックボックス化等の問題があるシステム）」の刷新が重要と考えられます。

現在、またはこれまで実施されたレガシーシステムの刷新に関する取組みについて、可能な範囲でご紹介ください。

- ・目的
- ・刷新時期、実施範囲、手段等（必須）
- ・実施したあるいは実施を検討している攻めの取組
- ・実施に際して工夫した点・重視した点

Q52攻めのIT経営推進上の取組み

「攻めのIT投資」を推進するための取組みについてご紹介ください。

（テーマの例）・IT-IR ・ITに関するR&Dの取組み ・ITに関する人材育成

※上記は一例です。その他特筆すべきテーマ・活動があれば自由にご記入ください。

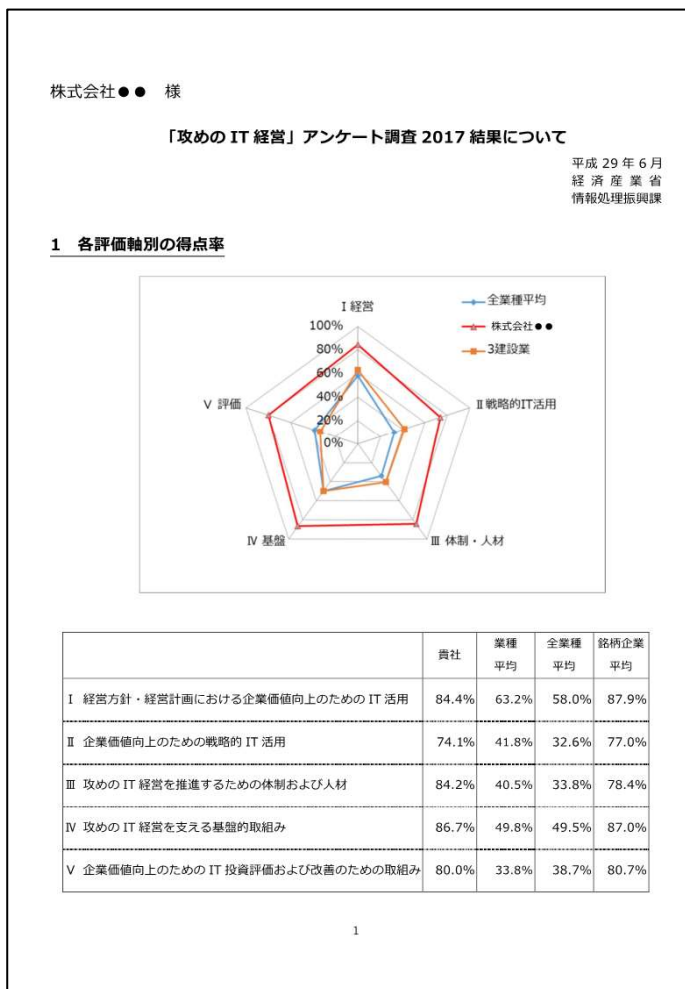
6. フィードバックの内容について

アンケートにご回答いただいた全社にフィードバックを予定しております。

内容（予定）

- 各評価軸別の得点率
- 各評価軸の全業種平均・所属業種平均・銘柄企業平均との比較
- 各選択式項目における全体の傾向 等

フィードバックレポートイメージ



7. アンケート内の用語について①

アンケート内の用語について、以下の通り定義しております。

最新のデジタル技術	IoT, AI, ビッグデータ, ロボット, ブロックチェーン等の技術を、本調査では「最新のデジタル技術」と称します。
ビジネスIT	事業独自のIT（ビジネスに直結するIT）
エンタープライズIT	会計、経理・財務、人事等の企業内ITシステム、および共通ITインフラ（メール等）

7. アンケート内の用語について②

アンケート内の用語について、以下の通り定義しております。

レガシーシステム	<p>下記いずれかに該当する場合を「レガシーシステム」と定義します。</p> <p>1. 技術面の老朽化 古い要素技術やパッケージでシステムが構成されており、H/W等が故障すると代替がきかない状況。または、古い要素技術に対応できる技術者の確保が難しい状況</p> <p>2. システムの肥大化・複雑化 システムが複雑で機能の追加・変更が困難となり、現行業務の遂行や改善に支障がある状況。 システムの変更が難しいため、外部に補完機能が増えたり、人が運用をカバーしなくてはならない状況</p> <p>3. ブラックボックス化 ドキュメントなどが整備されておらず、属人的な運用・保守状態にあり、障害が発生しても原因がすぐにわからない状況、 または、再構築のために現行システムの仕様が再現できない状況</p> <p>上記の結果として、経営・事業戦略上の足かせ、高コスト構造の原因となっていると考えられます。</p>
-----------------	---

8. FAQ①

■ 自社の回答内容を保存・出力することは可能か？

- 回答終了後はできませんが、各ページの項目軸単位（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴごと）に保存・出力が可能です。必用に応じて項目軸ごとの回答一覧が表示されたページの出力をお願いいたします。

■ 回答終了後に自社の回答データを修正することは可能か？

- アンケート実施期間内（2/9・18:00まで）は承ります。WEBサイト上では修正ができかねるため、事務局メールアドレス宛に、ID/PWおよび修正箇所をご連絡ください。

■ すべての質問に必ず回答する必要があるのか？

- 該当しない場合は回答いただかなくても結構ですが、「攻めのIT経営銘柄2018」選定のスコアリングにおいては不利になります。

■ 回答した内容は外部に公表されることがあるのか？

- ご回答いただいた内容については秘密を厳守します。ただし「攻めのIT経営銘柄2018」「IT経営注目企業2018」に選定された場合は、その取組み内容等を中心に公表させていただく可能性がございます。公表の前に、必ず内容について確認うえ公表させていただきますので、窓口の方のご連絡先を間違いなくご記入ください。

なお、アンケートに回答いただいた企業名については、原則公開させていただく予定です（2018年5月以降）。公表を希望されない場合は、窓口の方の連絡先を入力の際に「公開を希望しない」にチェックを加えてください。

8. FAQ②

■ アンケートの選択式項目の配点は教えてもらえるのか？

- 配点は非公開となります。また同様にROEの加点も非公開となります。ご了承ください。

■ 記述式回答は必ず回答しなければならないか？

- 該当する取組みを実施されておられない場合はアップロードいただかなくとも構いませんが、「攻めのIT経営銘柄2018」の選定においては不利となります。「最新のデジタル技術」を活用した取組みに限らず、多くの取組みを紹介していきたいと思っておりますので、ぜひご紹介をお願いいたします。

■ 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト（記述回答Q15・17）の内容は、昨年と同じ取組みでも良いか？

- 貴社にとって重要な取組みであったり、他に新たな取組みが無いようでしたらかまいません。ただし、過年度の取組みから進展した点やそれに続く新たな挑戦などが評価のポイントとなりますので、その点をぜひ詳しくご記入ください。

■ 企業価値向上のためのIT投資プロジェクト（記述回答Q15・17）の内容は、グループ会社の取組みでも良いか？

- その取組みがグループ全体の企業価値向上に寄与するものであればかまいません。

■ 本調査は法律等に基づく回答義務があるのか？

- あくまでも調査へのご協力という形をお願いするものであり、義務ではございません。